

ごみステーションの カラス被害を減らすには



カラスが街中に増えたのは、人間が出すごみの中にカラスの餌が豊富なためです。カラスは雑食性で肉から植物まで、あらゆるものを食べます。本来、自然界に暮らすカラスたちの役割は、小動物の死骸などを処理する掃除屋さんです。

しかし、ごみステーションという効率的にエサを得ることができる場所を知ったために狙うようになりました。

また、カラスは行動範囲が広く、今いるカラスを捕獲しても餌になる生ごみがなくなる限りあちらこちらから新顔が集まってくるのです。

対策として、次の2点を周知徹底していただきますようご協力をお願いします。

- ・ できるだけ食べ残しなどの生ごみを減らす
- ・ 生ごみを出す場合は、水分を切り小さい袋に入れるなど工夫をする

そこで基本の餌対策（生ごみ等をカラスの餌にしない）のご協力をお願いします。

カラスのエサとなる物（食べ残し、野菜の切りくず）を出す場合の工夫

◆牛乳パック使用例



◆ペットボトル使用例



カラスに狙われないように袋の真ん中に入れて荒らされにくい状態に出しましょう。



折り畳み式ネットボックス等の購入費の一部を補助しています！

近年、ごみステーションにおけるカラス等の鳥獣によるごみの散乱被害が増加傾向にあります。

本市では、折り畳み式ネットボックス等の導入を促進することにより、ごみの散乱被害の抑止を図り、良好かつ快適な生活環境を確保することを目的として、折り畳み式ネットボックス等の購入費用の一部を助成する制度を新たに創設し、令和2年4月1日より実施しています。



【補助内容】

購入金額（消費税を含む）×2分の1
（100円未満切り捨て）※補助上限額は20,000円

※補助対象は、ごみステーション単位です（ごみステーション1ヶ所に対し、複数個のネットボックスを購入し、補助金を申請していただくことも可能ですが、補助上限額はごみステーション1ヶ所につき20,000円です）。

※販売店等のポイント等を使用した購入分や配送料等は補助金の算定には含まれません。

【交付要件】 補助対象者は以下の要件のいずれにも該当している方・団体です。

1. ごみステーションを実質的に管理している者または、団体等の代表者であること。
2. 購入したネットボックス等を適正に管理できること。《収集作業終了後は路上に放置して歩行者等の通行の妨げや事故の原因にならないよう、あと片付けをお願いいたします》
3. 設置状況調査または、報告に応じることができること。
4. 過去5年以内に、この要綱に基づく補助金の交付を受けていないごみステーションにて使用するものであること。

【申し込み予約から補助金交付までの流れ】

1. 電話にて予約申し込み（美化企画課：市民協働・開発調整チーム）☎：0798-35-3820
2. 収集担当課（美化第1課または美化第2課）との事前協議
※収集担当課の職員による設置場所の状況確認および購入予定物の詳細確認
※事前予約受付後1ヵ月以内に事前協議を完了してください。
3. 交付申請書の送付（収集担当課との事前協議において問題がない場合）
4. 折り畳み式ネットボックス等を購入
5. 申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて美化企画課：市民協働・開発調整チームへ提出
※交付申請書類の提出期間は、交付申請書類の発送から1ヵ月以内です。
6. 申請内容の確認・審査 ※美化企画課より交付可否決定通知書を送付
7. 補助金の交付（申請内容に問題がない場合）
※補助金の振込は、申請された月の翌月以降になります。



補助対象・条件等の詳細については、市ホームページでご確認ください。

